

細木
病院

四国老人福祉学会第37回大会 細木理事長が大会長を務め開催！



第37回大会事務局スタッフ

四国老人福祉学会は、全国に先駆け、老人一人ひとりの生活支援に向けた実践科学を追究する学会として、1981年（昭和56年）に設立された歴史ある学会です。毎年四国4県が持ち回りで開催しており、高知県の回りとなった第37回大会は、細木秀美理事長が大会長を務め、細木病院在宅部が事務局を担当し、2月17日に高知会館において開催されました。

半年前に、学会長の大原昌樹陶病院院長ほか関係者が当院にいられて打ち合わせを行い、テーマを「地域まるごと〜これからの共生社会を考える〜」に決定。基調講演の講師には、釣りバカ日誌のモデルとして有名な高知大学地域協働学部特任教授の黒笹慈幾先生と、四国霊場第31番札所、竹林寺住職

の海老塚和秀先生のお二人になりました。その後、演題発表と参加申し込みの受付、抄録集の作成、パワーポイントの受付など、在宅部の職員が手分けをして準備を進めてきました。当日は、発表者やスタッフを含めて総勢90名の参加があり、滞りなく大会が開催されました。



黒笹先生の講演「釣りバカ日ちゃん、日本語の通じる外国・高知に暮らす〜ハッピーリタイアの聖地としての高知を考える〜」では、都会では考えられない独特の高知の気質と食材の素晴らしさを、高知に住むことの幸せと掛け合わせて面白おかしく話され、私も高知で暮らせてよかったとつくづく思ったことでした。海老塚先生の講演「この世はみんなの花を咲かせに来たところ」では、地域住民が主体となって高齢者や子どもとの交流の場を作っている新しいお寺の取り組みの報告があり、共生を考

えるといふ今回のテーマにふさわしいお話を聞くことができました。命に感謝すること、自分自分と云うのではなく、お互いに感謝することの大切さを、涙を流しながら聞きました。

また、前回大会の演題の中から、三愛病院のデイサービスいろはの発表が優秀学会賞に選ばれました。

学会長の大原先生が、「何か新しいことを始めるのは、いつも徳島県が高知から始まる」と言われていたことが大変印象に残っています。来年度の開催は愛媛県です。これからも地域包括ケアシステムの構築に向けた活動をしながら、来年もまた新しい取り組みが発表できるよう、周りに感謝しながら精進していきたいと思っております。

演題発表は2つの会場に分かれて11題の発表がありました。地域づくりや外国人との共生など多岐

(在宅部長 廣井三紀)

細木病院グループからの演題発表

演題名	発表者(写真右から)
地域づくりに向けての第一歩 ～「まっことネット細木」活動報告～	細木病院在宅部 課長・看護師 池上美幸
訪問STにおける進行性難病患者への取り組み ～多職種で関わる安全な終口摂取～	訪問リハビリテーション三愛 言語聴覚士 大木 心
在宅復帰支援・チーム力の見せどころ！ ～元気になって帰ろう～	老人保健施設あうん高知 介護福祉士 武政龍弥

時 事
エッセー

タラバガニはヤドカリの仲間



仁生会理事長
細木 秀美

今年の冬はこのほか寒かったなあと思っているのは、私だけではないだろう。こんなに寒いと、美味しい鍋物が恋しくなる。タラ鍋、うどんすき、クエ鍋、フグ鍋、カニや牡蠣など、

種々の食材により美味しいお鍋が各地方にあることは皆がよくご存じだ。特にカニは、「カニの王様」といわれて、身がぎっしりと詰まった高価なタラバガニやズワイガニなどが有名である。ズワイガニは収穫された地方によって、松葉ガニ、越前ガニ、加能ガニなど産地によって名前が異なる。雌のズワイガニは、地域によって「セイコガニ」、「香箱ガニ」、「こっぺ」などと呼ばれている。

私はカニを食べるのは苦手である。理由は、カニの身を出すのに気を使って、しかも下手くそで、少ししか手に入れて食べられないからだ。でも、タラバガニの大きな足の身だっ

たら一度にたくさん取れて食べられるので好きである。だから、もっぱらタラバガニを食べるが、最近は高価になって、年に何度も食べられなくなった。しかし、調べてみると、タラバガニは北海道が主漁場で、タラの漁場と一致しており、タラと一緒に網に掛かって、江戸時代は浜や海に捨てられていたらしい。人が食用とし始めたのは、明治時代後半または大正時代からのようだ。

しかも、タラバガニは、生物学的にはヤドカリの一種だと知って驚いた。カニは横に歩くのに、タラバガニは前に向かって歩くことができる。これがヤドカリの種の根拠にもなっている。カニは一般的には、足の数は、はさみも入れて2対10本あるのに、タラバガニは、一番下の足は極端に小さく甲羅に隠れているので2対8本に見える。最近では、我が国のカニより、ロシアで水揚げされたものがほとんどらしい。缶詰でも、タラバガニは本当に美味しいなあ。

三愛病院

デイサービスいろは 前回の四国老人福祉学会での発表が優秀学会賞受賞

デイサービスいろはでは、地域活動の一つとして認知症カフェやサロン等で「臨床美術」に取り組んでいます。「臨床美術」は、脳を活性化させ、認知症の症状を改善するために開発されたプログラムですが、現在では、認知症予防や症状改善だけでなく、子どもや社会人、高齢者まで幅広い世代の方々に向けて実践されています。

平成28年度は、「生命の基金」から助成も受け、地域の皆様の認知症予防の一つとして、地域の小学生や保護者にも声を掛け、1年間活動しました。そして、昨年3月に徳島県美馬市で開催された四国老人福祉学会第36回大会において、「もの作りの風

土を活かした認知症ケアの取り組み「臨床美術」に取り組みました。その発表が優秀学会賞を受賞し、2月17日の四国老人福祉学会第37回大会の冒頭で表彰していただきました。今回の受賞を受け、地域に根差した事業所として今後も活動していきたいと決意を新たにしました。(主任 竹口伸也)



もの作りの風

社会医療法人 仁生会 細木病院グループ
ほそぎ爆笑寄席

桂かい枝 桂文鹿二人会

桂かい枝 (かづら かいし)
昭和48年生まれ。平成9年に立役桂文鹿に入門。平成10年から笑談漫遊を始め、平成12年にはキングオブコメディ賞を受賞。現在は、徳島の総合病院「ほそぎ」で毎月1回、中3年の児童の教育費でも活動が認められている。徳島県立徳島病院の職員。

桂文鹿 (かづら ぶんろく)
昭和28年生まれ。平成9年に立役桂文鹿に入門。「打ちこぶし」を愛する。自身の活動の場にもなるとして平成12年に「桂文鹿」名義で、平成15年頃から「徳島県立徳島病院」の「ほそぎ」で毎月1回、中3年の児童の教育費でも活動が認められている。

平成30年
4月14日(土)
午後2時~3時30分
細木病院
高行記念講堂
入場無料
一般の方でも観覧できます。
お席は先着順です。
事前申込不要

細木病院

医療人のマナー研修開催 「言葉づかい」と「日頃役に立つビジネスマナー」

当院の多職種で構成された接遇向上チームが平成27年度に発足し、平成29年度より「接遇向上委員会」へと昇格しました。接遇向上委員会では、当院の理念でもある、患者さんからも、地域からも、職員からも、この病院でよかったと心から思ってもらえる病院を目指し、信頼され愛される病院づくりのため、同時に働きやすい病院づくりのために接遇向上に取り組んでいます。

先してボタン操作をする
ことが望ましいといわれて
います。言葉づかいに
関しては、患者さんやご
家族に対してはもちろん
ですが、職員同士の間で
も、丁寧な言葉づかいを
意識していけたらと思
います。今回のアンケート
では、エレベーターでの
対応について今後参考に
していきたいというご意
見が多数ありました。

今度も接遇をよくしよ
うとする職場風土を皆と
一緒に作っていきけるよう
に、接遇向上委員会とし
て取り組んでいきたいと
思います。
(地域連携推進センター
患者サポート室
小笠原望)



例について再現ビデオを
作成し、紹介し
ました。電話対
応では、顔が見
えないので、声
や話し方で印象
が決まるため、
見えない顔を意
識しながらより
丁寧な対応を心
がける必要があ
ります。エレ
ベーターでの対
応は、職員が率

細木病院

朝のあいさつ運動と あいさつ唱和タイムで接遇力UP!!

当院の接遇向上委員会
では、今年初めて「接遇
強化週間」として、1月
15日から19日の5日間、
患者さんや職員を対象に
した「朝のあいさつ運動」
と各部署での「あいさつ
唱和タイム」を実施しま
した。この運動は、接遇
の基本は笑顔とあいさつ
であること、また昨年度
に行った研修会のアン
ケートにおいて提案があ
り実施することになりま
した。

「朝のあいさつ運動」
では、寒い中、堀見院長
をはじめ多くの職員にご
協力いただき、あいさ
つの大切さをあらため
て印象づけることがで
きたと思います。朝、
患者さんや職員がよく
行き来する本館入口や
新館地下、南館入口で、
プラカードを持ったメ
ンバーが、通りゆく
方々に笑顔であいさつ
をしました。最初は会釈
だけだったのが、期間の
後半になるにつれて声に
出してあいさつをしてく
れる方が増えたことを実
感しました。普段なか
か顔を合わさない職種
の方々ともあいさつを交
わすことができるともよ
い刺激になりました。

「あいさつ唱和タイム」
では、各部署の朝礼や夕
礼時に、患者さんに対
してや職員同士で日々使
ってもらいたいあいさつ五
大用語「おはようござい
ます」「どうされました
か」「お待たせしました」
「お疲れさまです」「あり
がとうございます」の唱
和をしていただきますし
た。朝から大きな声で唱
和することで、気持ち
引き締まり、仕事への「や
る気」にもつながったと
思います。「気持ちよかつ
た」「唱和することで一
体感が出て、職員同士の
つながりを感じた」との
声もあり、大変反響が大
きかったと感じました。
今後も当院の接遇がよ
り一層向上していくよ
う、皆さんの協力をいた
だきながら取り組んでい
きたいと思っております。
(新1病棟看護師
北村さやか)



「朝のあいさつ運動」
では、寒い中、堀見院長
をはじめ多くの職員にご
協力いただき、あいさ
つの大切さをあらため
て印象づけることがで
きたと思います。朝、
患者さんや職員がよく
行き来する本館入口や
新館地下、南館入口で、
プラカードを持ったメ
ンバーが、通りゆく
方々に笑顔であいさつ
をしました。最初は会釈
だけだったのが、期間の
後半になるにつれて声に
出してあいさつをしてく
れる方が増えたことを実
感しました。普段なか
か顔を合わさない職種
の方々ともあいさつを交
わすことができるともよ
い刺激になりました。

「あいさつ唱和タイム」
では、各部署の朝礼や夕
礼時に、患者さんに対
してや職員同士で日々使
てもらいたいあいさつ五
大用語「おはようござい
ます」「どうされました
か」「お待たせしました」
「お疲れさまです」「あり
がとうございます」の唱
和をしていただきますし
た。朝から大きな声で唱
和することで、気持ち
引き締まり、仕事への「や
る気」にもつながったと
思います。「気持ちよかつ
た」「唱和することで一
体感が出て、職員同士の
つながりを感じた」との
声もあり、大変反響が大
きかったと感じました。
今後も当院の接遇がよ
り一層向上していくよ
う、皆さんの協力をいた
だきながら取り組んでい
きたいと思っております。
(新1病棟看護師
北村さやか)

仁生クラブ設立30年記念企画 OBと現職の合同1泊旅行

仁生クラブ（OB会）は、平成元年に設立してから今年で30年目を迎えます。これを記念して、一足早く、昨年の12月9日～10日に、1泊2日のバス旅行が企画され、細木秀美理事長・鷹子本部長のご夫妻とOB10人、現職6人の計18人が道後温泉や来島海峡などの旅を楽しめました。

奥道後・来島海峡 急流観光

仁生クラブ会長
（元細木病院名誉副院長）
濱田義文

今回の旅行は、仁生ク

ラブ設立30周年の幕開け行事として企画されたもので、細木理事長から提案があり、旅行の細部についてもいろいろとご配慮をいただいた。

細木病院前に集合し、バスに乗って一路愛媛県へ。いの町を過ぎ、仁淀川ブルーの源流を訪ねながら道の駅木の香、寒風山トンネルを抜け、西条市に向かった。途中、峠付近ではうっすらと雪化粧が見られた。

昼すぎ、奥道後のホテルの湯の守に到着。昼食を済まし、大衆演劇（芝

居、おどり）を観劇した。大衆演劇と呼ばれるものを観るのは初めてであり興味があったが、素人の域を少し出たくらいと想像していた。ところが、役者の動き、せりふなどは、長い間の修練を積んだもので、見ごたえがあった。舞踏もあやしいまでの美しさを見せる女形が、時折見せる流し目にドキリとし、異次元の世界に迷い込んだような気持ちになった。3時間余りがあつという間に過ぎた。

夕食はバイキングで、土地のおいしいものを十分にいただいているから温泉に入り、その後、細木理事長を囲んで楽しい酒盛り時間を過ごした。

翌日はまず、愛媛県の産物を集めた大きな市場「彩菜」（さいさいき

て屋）へ行き、それぞれにお土産を買った。その後、今治のタオル美術館でショッピングを楽しみ、昼食は同館5階のレストランで超豪華な中華料理に大満足した。



急流が、落差をもって白い水しぶきをあげながら激しく吸い込まれ、大小の渦を作っている。そのうえ、海底の岩に激しくぶつかった潮流が大きく盛り上がる波となり、それらが交じり合い、千変万化の姿を見せていた。しかもこれらが手の届くような目の前に展開するとあっては、ただすごいと感動するばかりであった。そこを離れ、村上水軍の本拠地の能島、日本一の規模を誇る今治造船所を見る。船から見上げる来島海峡大橋の壮観も心に残った。

観潮が終わったところから空模様があやしくなり、小雨の中を高知に帰って来た。帰りの車中では、さすがに眠りだす姿も見られたが、満足げな表情を見せていた。

後日談になるが、今年いただいた年賀状には、旅行に参加した誰からも「楽しかった、よかった」という言葉が書き添えられていた。

日本病院会高知県支部主催 平成29年度第2回講演会開催

細木秀美理事長が支部長を務める日本病院会高知県支部の主催で、平成29年度第2回講演会が2月21日に城西館において開催されました。今回は、一般社団法人日本病院会の会長で社会医療法人財



団慈泉会相澤病院（長野県松本市）理事長の相澤孝夫先生をお招きして、「これからの時代を見据えた病院運営」と題してご講演いただきました。講演会には県内医療機関の院長や事務長など多くの方が参加されました。

相澤先生からいろいろないきさつなどについて紹介がありました。本題の講演は、人口減少が続く高知県で、高齢者中心の治療と介護に奮闘している私たちにはとても身に染みる内容で感銘を受けました。講演会後の懇親会にも多数参加があり、相澤会長と意見交換を深めました。



昌オリンピックのスピドスケートで金メダルに輝いた小平奈緒選手の所属先であり、小平選手の成長を経済的にずっと支えてきたことでちょうど話題になっていたこともあり、講演に先立って、

**仁生クラブ
設立30年記念
1泊旅行に参加して**

仁生クラブ幹事
(元細木病院事務長)
岡村久美

今朝、細木病院玄関ホールに集合し、まずお互いの近況報告から始まり、最近の健康状態を確認。その後バスに乗り込み、楽しい旅の始まりです。見慣れた景色ですが、バスの車窓から見る景色は新鮮で、いの町から194号線で寒風山を越えるコースです。路面の凍結を心配しながらのスタートでした。紅葉は最終で、少し枯葉も目立つ冬支度の景色でしたが、峠に近づくと雪景色に。663美の里では積雪もあり、手で雪の感触、冷たい澄んだ空気を快く感じながら、はしゃぎ、寒風山から西条へと最後の紅葉と白く雪化粧した山並みの景色を眺めながら進みました。車内では、ダジャレ談議で和やかな笑いに包まれてい

ました。例えば、昔整形外科の入院患者様との手術後の会話で、「痛みがあれば我慢せずにスツと言ってください」と看護師が言ったそうです。翌朝「昨夜は痛みもなく、よかったですね」と言っていると、「痛みがあったので『スツ』と言ったけど通じなかった」と言われたそうです。嘘のような本当の話だそうです。それぞれ、診察時の体験や日常会話の中での土佐弁の面白体験談が出て、そのたびに笑いの輪が広がり、あっとい間に目的地の松山道後に入り奥道後温泉宿に到着。

ホテルに入って部屋番号が渡され、またまた誰と同室になるのかスリルを味わいながらの相手探しに、まるで遠い昔の若き日の修学旅行のようでした。昼食はバイキングで、プレートにいろいろな料理を取り楽しめました。その後、あやしいまでの美しい役者の姿にうっとりしながら大衆演劇を観劇しました。その劇場では、役者さんにおひねりが渡されるのですが、襟元に綺麗なクリップに止めて万札が渡されます。「あのお金は誰に渡るか」「さくら？」などの憶測も、大音量に耳をふさぐ者、うとうとしていて飛び起きる者など、ここでも笑いに包まれました。夕食もバイキングでしたが昼食とは異なり、乾杯で始まり、日頃食事制限していることを忘れ、いろいろな料理を楽しみました。プレートにケーキバイキングのように何種類ものケーキを取り、あれがおいしいと聞くと、また取りに行きなど、宴会とは異なる雰囲気を楽しみました。その後、大露天風呂「翠明の湯」は多彩なお風呂で、湯めぐりを堪能し楽しみました。そこでも、ハプニング。温泉の場所まで行くのが複雑で、内風呂と露天風呂が離れていて、帰りがまたまた分らなくなり迷子になった



りです。でも、とてもリラックスできました。夜は一部屋に集まり、懐かしい岡部先生、濱先生、多田先生、先代高行理事長との思い出話など、とても懐かしい時間でした。2日目は、道の駅ささいきて屋で、主婦に返ってお野菜・果物などのお買い物。おいしいミカンの選び方を地元の方に教わり、餅つき売り場では、餅を丸める機械に関心し、じつと立ち止まり見とれたり、この機械があれば施設でも問題なく、餅つきができるのになど話したことです。次は夕オムル美術館へと移動です。美術館では孫たちや友人へのお土産のショッピングを楽しみ、昼食は中華で楽しみました。いよいよ、今回一番楽しみにしていた来島海峡大橋を渡り、来島海峡遊覧船に、寒いのでたくさん着込んでカイロを持って乗り、手を伸ばせば届くような距離で、シブキを受けながら、迫力ある八幡渦、湧き渦を見ながら周りの島々の説明を聞き、造船所の近くで船が

できるまでの工程を聞き、急流体験をしました。その後高知への帰路につきました。

今回の旅行は、元上司と部下、職種の違いを感じることもなく、時間に追われることもなく、のんびりと、まるで仁生会家族旅行のようでした。

お互いに相手を思いやりながら、とても和やかな2日間でした。今回参加できなかったOBの皆様、次回企画があればぜひ参加してください。理事長、次回もぜひ開催していただけるようお願いいたします。

最後になりましたが、今回の旅行では、積善会からたくさん飲み物などをいただきありがとうございました。参加者一同お礼申し上げます。また、今回企画していただいた理事長、お世話していただいた職員の皆様、そしてお誘いいただいた職員の皆様、感謝お礼申し上げます。

日高クリニック

皆様を支えられて…「感謝」「ありがとう」「です！」

看護師長 矢野 道恵

昭和39年に、故高行院 長に声を掛けられて、個人病院で初の「土佐准看護学校」にお世話になつて以来、半世紀が過ぎました。その当時の外来は、患者様で待合室が

いっぱい、どの先生方も毎日多忙で、手術は夜間に行っていました。スタッフも看護はもちろんで、ベッドサイドでケアをしてる姿を見て、私は、患者様で待合室が

学生、看護師として、素晴らしい出会いや楽しい体験など、数多くの思い出やいろいろな事柄が走馬燈のように思い出されます。

任時代に各病棟を回り、いろいろな経験をさせていただきました。その後看護師として、さまざまなチャンスをおいただき、多くの方々と業務の改善や新企画など（訪問看護、検診セン

ター、糖尿病セミナー、じんせい編集委員、緩和ケア）に関わることができて、楽しく生き甲斐を感じながらの勤務ができました。

平成8年から、日高クリニック室長の拝命を受けて、「ある覚悟」をして設備、備品などを準備しました。故葦原院長と松本先生が朝8時半からの診療開始に備え掃除から始めました。その後、外来、デイケア、居宅介護支援事業所、病後児保育、グループホームなどの立ち上げ、250名ほどの採用面接、グループホーム入居者92名の対応など、職員皆と頑張りました。

2月18日、太平洋の雄大な景色を見ながら早春の高知を駆け抜ける「高知龍馬マラソン2018」が開催され、細木病院グループからも多くの職員が参加しました。

高知龍馬マラソンは、高知県庁前をスタートして桂浜などの観光名所を巡るフルマラソンです。私は初めてのフルマラソンの参加でした。去年もエントリーしていましたが、怪我による痛みが治まらず参加できませんでした。今年こそはと思

高知龍馬マラソン2018で完走！



完走はできたものの、今年も練習時の痛みに悩まされ、断念を考えたともありました。そこで、自分がこれまで蓄積してきた理学療法士としての知識や経験を生かして、靴のサイズの見直しやインソールの作成、柔軟性と筋力の強化、食生活の改善などのセルフケアを行いました。

感謝いたします。そして関わっていただいた方々に、こんな私と共に頑張ってくれて本当に「ありがとう」ございました。最後に、皆様のご健康とご活躍、そして仁生会日高クリニックのますますのご発展を心よりご祈念いたします。

ルフケアの重要性」を改めて感じました。これからも理学療法士として、痛みを悩む患者様へ貢献していくと同時に、患者様が痛みによってできなくなっていることができるように、自己研鑽と日々の業務に全力で取り組んでいきたいと思

今回走ったランナーの皆様、お疲れさまでした。また、声援をいただきました。ありがとうございました。（細木病院 理学療法士 岡本辰輔）



矢野師長送別会



細木ユニティ病院

音楽療法コンサートのご案内

細木ユニティ病院では、月2回ほど、S館6階で音楽療法コンサートを催しています。
 無料で公開していますので、一般の方もお気軽にお越しください。
 *駐車場はありません。公共の交通機関をご利用ください。
第396回◆歌の集い
 4月13日(金)午後2時〜 出演:ジラーソール
 ひまわりのように明るく元気に歌うよつと、イタリア語の「ひまわり」から「ジラーソール」という名前が結成されました。

国民のセルフメディケーション(自主服薬)推進のための医療費控除の特例が創設されました。セルフメディケーションは、WHOにおいて「自分自身の健康に責任を持ち、軽度な身体の不調は自分で手当すること」と定義されています。

新税制では、適切な健康管理の下で医療用医薬品からの代替を進める観点から、健康の維持増進及び疾病の予防への取組として一定の取組を行う個人が、平成29年から平成33年末の間、スイッチOTC医薬品(要指導医薬品および一般用医薬品のうち、医療用から転用された医薬品で現行約1500品目)を購入した際に、その年中の合計購入費用が1万2千円を超える額(上限あり)について所得控除を受け

用を受ける場合は、現行の医療費控除の適用を受けることはできません。対象となる医薬品(例えば、かぜ薬、胃腸薬、水虫薬、肩こり・腰痛・関節痛の貼付薬などの一部)は識別マークが掲載され、レシートにも記載されます。来年の確定申告は、どちらの利用がお得かどうかレシートを集めてみてはいかがですか?
 詳しい内容等につきましては、税務署、各病院の医療ソーシャルワーカーまでお問い合わせください。
 (連携推進センター 患者サポート室主任 陶川多映)

ご存じですか!?

ソーシャルワーカーからのミニ情報

セルフメディケーション税制(医療費控除の特例)について



セルフメディケーション
税 控除 対象

あなたとあゆむ 積善会ニュース NO.115

有限会社 積善会

〒780-0926 高知市大膳町 5-6 細木ビル 5F
 TEL : 088-873-0146
 FAX : 088-873-0147

《売店》

細木病院 新館地下
 088-822-7211(代)/内線1610
 三愛病院 1階
 088-845-5291(代)/内線260

リハビリ訓練・ダイエットに!!

(株)ユーキ・トレーディング



カラー4色(イエロー・グリーン・ブルー・ピンク)

ペダルエクササイザー PX-one 5,540円(税込)

低負荷での運動のため、体力に自信のない方や腰や膝に不安のある方でも無理なくご利用いただけます。

- ・消費カロリーや運動時間が分かります。
- ・どこでも簡単、本を読みながら、テレビを観ながらいつでも手軽に!
- ・運動が楽しくなるカラーとインテリアにも馴染むデザイン。運動効果も分かるメーター付き。
- ・椅子があれば狭いところでも運動できます。また、折りたためるコンパクト設計のため、収納にも困りません。

お取り寄せ商品になります。ご注文は、積善会事務所、または各売店までお申し付けください。



爽やかな辛みの黄金しょうががたっぷりおろしてたっぷり72g ゆずぼん酢に加えました。

高知県産のしょうが、ゆずを贅沢に使用したぼん酢

鯉のたたきをはじめ、しゃぶしゃぶ・焼き魚・酢の物など様々な料理にお使いください。

500円(税込) 売店にて好評販売中!

(株)坂田信夫商店

有積善会がお届けするインターネットショップ!

Zenショップが新しくなりました。

新製品も続々登場!!
 ぜひ一度ご覧ください。

ZENショップ x 検索

<http://store.shopping.yahoo.co.jp/zen-shop100>



皆様の健康を願って

今月の健康目標『歩こうよ、明るく元気に 根気よく!!』



外来担当医表



平成30(2018)年4月予定

じんせい平成30年3月号 (No.375)

仁生会 細木病院グループ	診療科	月				火				水				木				金				土	
		A	M	P	M	A	M	P	M	A	M	P	M	A	M	P	M	A	M	P	M	A	M
<p>★内科初診時は、基本的に専門の内科ではなく、総合診療科または一般内科での診察となります。</p>  <h2>細木病院</h2> <p>第二次救急医療施設(救急告示病院)</p> <p>〒780-8535 高知市大膳町37 ☎822-7211(代)</p> <p>予約電話 873-3806 ただし、小児科は 822-7211</p> <p>【健康管理センター】 予約電話 822-7264</p> <p>()のドクターは兼務です。</p>	総合診療科	堀上	見田	品原	中村					堀見				上高	田橋			丸山	堀熊	見合			
	一般内科	篠猪	原狩	細弘丸	木瀬山	松田	篠原	高橋	高知大 菅沼教授 授猪	弘瀬	松猪	田狩	松田	弘瀬	松猪	田狩	松田	丸山	堀熊	見合	担当医 (2名)		
	専門	呼吸器内科		小林 (せき外来)	小林													小林					
	消化器内科					中内				上田						中内		中内					
	循環器内科		高知大 瀬尾教授			山中				山中	中嶋			松村	高知大 松村教授 山中			西村 (第2週より)					
	糖尿病・内分泌内科			西岡	丸山	熊谷 (甲状腺外来)				西岡	丸山	西岡 (甲状腺外来)		西岡 (甲状腺外来)				西岡 (甲状腺外来)			品原		
	糖尿病センター		熊谷	中村				西岡			中品	村原		中村									
	腎臓内科							(西岡)										高知大 寺田教授					
	内視鏡センター		中高	内橋	中高	内橋	高上	橋田	中高	内橋	耕古	崎賀	中高	内橋	中廣	内瀬	高上	橋田	弘高	瀬橋	中内		
	外科		上地	尾崎 (乳腺・甲状腺)		尾崎	堀見			上地	西村			尾崎	高知大 坂本 (小児外科)			上地	高知大 花崎教授		尾崎		
	おしりの外来										上地												
	血管外科		西村							西村													
	緩和ケア科					安藤	安藤							安藤	安藤	安藤	安藤	安藤	安藤				
	脳疾患センター (脳神経外科)		栗坂 (手術)			栗坂				高知大 上羽教授				栗坂				栗坂			栗坂		
	整形外科	1診	北岡	担当医	山川	北岡	北岡	山川	担当医	北岡	高知大 池内教授 予約のみ	北岡	北岡	北岡	北岡	北岡	北岡	北岡	北岡	北岡	高知大 喜安		
	2診	山川	高知大 武政	南場	高知大 泉	南場	南場	南場		南場	南場	南場	南場	南場	南場	南場	南場	南場	南場	南場	南場		
	小児整形外科																				山川		
	小児科	1診	堂野	新井	新井	新井	新井	新井	新井	堂野	中岡	新井	堂野	堂野	堂野	堂野	堂野	堂野	堂野	堂野	堂野	新井	
	2診	富田	中岡	古賀	堂野	高知大 医師	高知大 医師	高知大 医師	高知大 医師	古賀	古賀	細川	細川	細川	細川	細川	細川	細川	細川	細川	堂野		
	神経小児科			細川																	小児科は土曜日午後診察あり		
小児こころの外来					島崎	島崎・中岡											島崎	島崎・中岡		堂野・古賀 13:00~15:00			
耳鼻咽喉科		橋	橋		橋	(手術)			橋	橋			橋	橋			橋	橋		橋			
形成外科・皮膚科		野田							野田								野田						
泌尿器科					蘆田								山本							安藤			
放射線科		耕崎			高知大 南口 9:00~12:00	高知大 堀原 13:30~16:30			耕崎				耕崎				耕崎						
セカンドオピニオン外来				(細木)																(栗坂)			
健康管理センター		森下			森下				森下	森下・弘瀬	森下	森下・弘瀬	森下	森下・弘瀬	森下	森下	森下	森下					
乳がん		尾崎			上地								上地							尾崎			
子宮がん					濱脇																		
細木ユニティ病院	精神科	再診	吉川	吉岡	吉岡 10:00~	弘井	吉岡	弘井	吉岡	弘井	徳岡	吉川	弘井	吉川	弘井	吉川	弘井	吉川	弘井	吉岡 (第1・3週)			
★初診の方は予約制です。(8:30以降に外来まで、お電話でご予約ください。)	心療内科	新患	徳岡	吉川	弘井	岡村	岡村	吉川	岡村	吉川	吉岡	徳岡	吉岡	徳岡	吉岡	弘井	弘井	吉岡	弘井	弘井 (第1・2・3週)			
〒780-8535 高知市西町100 ☎802-3366(代)	内科		松田 (第2・4週)						松田			岡村 (第2・4週) 14:00~15:30	松田 (第1・3・5週)										
三愛病院	総合診療科		武市					武市				武市				武市			武市				
★小児科の受付は、月・水・木・金は午後5時30分までです。(火曜日は午後5時で受付終了)	内科	1診	深野 (糖尿病外来)	小野寺 (糖尿病外来)	深野 (糖尿病外来)	細木 (肥満外来)		坂本	中川	中川	高知大 崎	高知大 小笠原真	高知大 小笠原真	坂本									
2診	上村	小野寺 (漢方外来)	高知大 小笠原史 (禁煙外来) 13:00~16:30	深野	上村	高知大 崎 (糖尿病外来) 13:00~16:00	高知大 水田 (禁煙外来) 13:00~16:00	上岡	高知大 田上 (禁煙外来) 13:00~16:00	坂本	中川	高知大 小笠原真	高知大 小笠原真	坂本									
内視鏡科		小野寺						小野寺															
循環器科																							
整形外科		高知大 五十嵐 9:30~12:00			高知大 岡上 9:30~12:00			森田				森田											
小児科		橋	詰		高知大 石原・高知大 北村 (交代)			橋	詰			橋	詰										
耳鼻咽喉科		市川			市川			市川	市川			市川	市川										
皮膚科												高知大 池永・青井 (交代)		市川・梶山 (交代)									
形成外科(美容)		三好			三好			三好				三好											
泌尿器科		山本			山本			山本				山本											
レディス外来						相良			相良														
もの忘れ・不眠外来												もの忘れ外来 須賀 (第1・3週) 15:30~17:00	不眠外来 須賀 (第2・4週) 9:00~12:00	不眠外来 須賀 (第2・4週) 9:00~12:00									
放射線科		岩井			岩井			岩井				岩井											
健診室		担当医			担当医			担当医				担当医											
日高クリニック	診療科	小児科/内科	松本		松本			休診				松本		松本									
〒781-2153 高岡郡日高村本郷滝ノ前7 ☎0889-24-7785(代)	整形外科													松本 (午後診察あり) 北岡 9:00~12:00									

発行人 細木秀美
印刷 株式会社高知新聞総合印刷
〒781-2153 高知市大膳町37 ☎0889-24-7785(代)